第七回高校生国際シンポジウム審査員一覧

スライド発表部門

分野名	氏名	所属	略歴
①国際・経済・医療	**日下部 元雄**	(株)オープン・シティー研究所所長，元世界銀行副総裁	日下部元雄　（株）オープン・シティー研究所　代表取締役・所長、東京大学大学院数学科修士、Yale大学経済学修士、大蔵省入省、財政金融研究所総括主任研究官、財務官室長、金融市場改革担当参事官等を歴任、その間、IMF理事室、欧州復興開発銀行、世界銀行副総裁を勤め、貧困国に対する開発戦略策定、アジア経済危機への対応などを行う。その後ロンドン・東京で研究所を立ち上げ社会的排除・貧困・格差問題、生涯発達経路の計量的調査分析を日英両国11都市を対象として行う。
	Alison Beale	オックスフォード大学日本事務所代表	アリソン・ビール　オックスフォード大学日本事務所代表。英国出身。オックスフォード大学でフランス、ドイツ文学を学び、シェフィールド大学で日本研究の修士号を取得。JETプログラムで初来日し、大分県で英語指導を行った。前職はブリティッシュ・カウンシル日本副代表。現職では日本の企業、財団、卒業生や個人の方々とオックスフォード大学との関係構築、強化に努める。在日英国商工会議所、大学改革支援・学位授与機構、日本の大学の国際委員会等で委員も務める。
	田所慎	航空自衛隊医官、中部大学大学院工学研究科	航空自衛隊医官．東京都出身．防衛医科大学校医学科卒業、医師免許取得後、防衛医科大学校病院、自衛隊中央病院にて初期臨床研修、後期臨床研修、耳鼻咽喉科専門医取得．航空自衛隊第９警戒隊衛生小隊長(下甑島)、航空医学実験隊医学適性班長、同低圧訓練班長、防衛省航空幕僚監部首席衛生官付等を歴任．在任中の経験から空間識形成機構の解明が航空医学上の喫緊の課題と考え、現在は中部大学大学院工学研究科博士後期課程において研究活動に従事している．
②人文科学・ジェンダー	**島津 公保**	株式会社島津興業相談役	（株）島津興業　取締役相談役。鹿児島県教育委員。慶應義塾大学大学院工学研究科　管理工学専攻修士課程修了。三菱電機(株)で交通部門の営業を経験し、平成元年に島津興業に入社。平成11年～平成19年まで同社代表取締役。鹿児島の観光振興に取り組み、特に「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録に当初から関わり実現に尽力。
	日下部 笑美子	(株)オープン・シティー研究所共同代表、Abalance株式会社社外取締役、 ロンドン大学ＵＣＬ校計画学博士	オープン・シティー研究所共同代表、計画学博士。Abalance株式会社、社外取締役。ロンドン大学LSE地理学修士、人文地理学リサーチ修士。ロンドン大学UCL計画学博士。英国経済環境開発センター（UK CEED) 客員上級研究員、世界銀行グループファミリーネットワーク（WBGFN）受入委員会議長、国連UNPAN、WHO共催ラウンドテーブルパネリスト、国連HABITAT上級レベル作業部会パネリスト。現在、研究所共同代表として社会関係喪失による負の連鎖への予防的対応推進によりSDG3の実現に向けた研究を行っている。
	岩田直也	福岡大学人文学部専任講師	福岡大学人文学部専任講師。京都大学で西洋古代哲学を学び、英国ケンブリッジ大学にて博士号を取得。オックスフォード大学ポスドク研究員などを経て現職。専門はプラトンとアリストテレスの認識論。
③化学	**谷口 育雄**	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 准教授	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所准教授　工学博士　大阪生まれ　京都大学工学部卒、同工学研究科終了後、京都工芸繊維大学で助手、マサチューセッツ工科大学で博士研究員、地球環境産業技術研究機構で主任研究員を歴任した後に現職　世界に先駆けてPET分解菌を発見しScience誌に発表した　プラスチックを含む炭素循環を研究対象とし、JST CRESTやNEDO及びグリーンイノベーション事業などに取り組んでいる。
	弘津辰徳	株式会社サイディン代表取締役、熊本大学薬学部・薬学教育部 非常勤講師	株式会社サイディン代表取締役 兼 熊本大学薬学部・薬学教育部 非常勤講師、健康生命科学博士。熊本大学薬学部卒、同薬学教育部博士後期課程修了。博士後期課程在学中の2016年に自ら研究を行なっていた環状オリゴ糖「シクロデキストリン」を利用した医薬品・機能性食品の開発を目指し、株式会社サイディンをサイディンを設立。2021年熊本大学薬学部・薬学教育部の非常勤講師に就任し、アントレプレナーシップ教育にも携わる。
	西原 正通	九州大学次世代燃料電池産学連携研究センター准教授	西原正通　九州大学次世代燃料電池産学連携研究センター准教授。専門は高分子化学。熊本大学工学部卒、同博士後期課程で博士(工学）を取得。その後、スイス･ジュネーブ大学で博士研究員、神奈川科学技術アカデミーで研究員、九大先導研特任助教、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所助教を経て、２０１６年より現職。燃料電池、水電解など水素エネルギーデバイスに関わる高分子材料の研究を行っている。

一般社団法人
Glocal Academy

分野	氏名	所属	略歴
④生物	**柳下聡介**	国立精神・神経医療研究センター神経研究所（疾病研究第五部）室長	国立精神・神経医療研究センター神経研究所（疾病研究第五部）室長。東京大学教養学部生命・認知科学科を卒業後，同大大学院総合文化研究科にて，学術博士を取得。専門は神経病理学。小学生の時にNHKスペシャル『脳と心』を見て，記憶のメカニズムに興味を持つ。そのために，これまで一貫してアルツハイマー病の基礎研究に取り組んでいる。現在は，アルツハイマー病の発症に伴って神経細胞内に蓄積するタンパク質タウに着目し，その発症メカニズムの解明を目指している。
	宇津木 光代	Nature Portfolio	Natureダイジェスト マネージングエディター（編集長）。1999年 東京薬科大学 生命科学部卒業、2001年 千葉大学大学院自然科学研究科修了。東京書籍（株）編集局 理数科編集部、理化学研究所（免疫・アレルギー科学総合研究センター）を経て、2010年よりネイチャー・ジャパン（株）に勤務。博士論文（医学）審査の３ヶ月前に同社への就職が決まり、再び出版の道へ。2014年より現職。
	瀬戸 昌宣	NPO法人SOMA代表理事	1980年東京生まれ。農学博士（農業昆虫学）。専門は生態学、環境微生物学、環境科学。米国コーネル大学にて博士号を取得。同大学で研究と教育に従事。2016年、高知県土佐町で中山間地域の教育に参画。2017年にNPO法人SOMAを設立、「ひとが育つ環境をととのえる」をミッションに学びの環境づくりに取り組む。2021年度、福岡県の海辺の街に拠点を移す。経済産業省 産業構造審議会 教育イノベーション小委員会委員（2021年～）。人の発達発育に環境が及ぼす影響を生態学的な視点から研究している。
⑤物理・数学	**齊藤 英治**	東京大学 工学部物理工学科　教授	1971 年東京都生まれ。 東京大学 工学部物理工学科 教授。東京大学大学院工学系研究科にて博士号取得。慶應義塾大学理工学部物理学科助手、専任講師を経て，2009 年東北大学金属材料研究所教授。2014 年より科学技術振興機構「戦略的創造研究推進事業 総括実施型研究（ERATO）」研究総括。2018 年より現職。 専門は物性物理学。日本学術振興会賞，日本学士院学術奨励賞，日本IBM 科学賞等20を超える国内外の賞を受賞。
	森田 洋平	沖縄科学技術大学院大学 学術連携推進シニアマネジャー	沖縄科学技術大学院大学 学術連携推進シニアマネジャー。筑波大学大学院博士課程、高エネルギー加速器研究機構の広報室長などを経て、現職。国際会議の誘致、各種科学イベントの企画、科学ジャーナリストとのつながりなどを活かした様々な広報活動を担当。
	吉本英樹	東京大学先端科学技術研究センター特任准教授	東京大学工学部航空宇宙工学専攻修士課程修了。2010年より渡英し、2016年Royal College of Art (英国王立芸術学院) Innovation Design Engineering学科博士課程修了。2015年にロンドンでTangent Design and Invention Ltd創業。世界的に有名な高級ブランドを顧客に、様々なデザインプロジェクトを手がける。2020年より東京大学先端科学技術研究センター特任准教授。

第七回高校生国際シンポジウム審査員一覧

ポスター発表部門

分野	氏名	所属	略歴
①医療・福祉	**堂園 文子**	学校法人吉井学園理事長 社会福祉法人塔ノ原福祉会錦ヶ丘保育園理事、施設長	学校法人吉井学園理事長　社会福祉法人塔ノ原福祉会錦ヶ丘保育園理事、施設長　横浜市で生まれる。横浜雙葉学園高等学校卒業、慶應義塾大学文学部英米文学科卒業、1987年夫のUターンで鹿児島市に転居。堂園メディカルハウスでは終末期医療と望まない妊娠のケアにあたる。2011年より現職。
	井口由布	立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部教授	東京生まれ。東京外国語大学外国語学部インドネシア・マレーシア語学科卒業。コーネル大学大学院、マラヤ大学大学院への交換留学を経て東京外国語大学大学院博士後期課程修了。博士（学術）。現在、立命館アジア太平洋大学（APU）アジア太平洋学部　教授。文化研究、ジェンダー研究、東南アジア研究を専攻。著書『マレーシアにおける国民的「主体」形成』（彩流社、2018年）。女性器切除に関する共著論文がPlos Medicineなど医学系トップジャーナルに掲載されている。
	青山 泰司	鹿児島県総務部財政課長	鹿児島県総務部財政課長 東京大学法学部卒，オックスフォード大学 公共政策学修士，ロンドン大学 比較政治学修士 現在は、鹿児島県の財政運営と予算編成を担当.
②社会科学・観光	**植木和司郎**	株式会社 新興 出版社啓林館 顧問、株式会社 森上 教育研究所 アソシエイト コンサルタント 、昭和女子大学 現代ビジネス研究所 研究員 JTB コミュニケーションデザイン 教育 事業シニアアドバイザー	1984年同志 社大学法学部卒 、同年、株式会社日本交通公社、現 JTB グループ 入社インバウンド部門（国際交流事業部）にて、訪日ツアー企画造成や企業インセンティブ、F1 や競馬など国際イベントを担当の後。教育事業に転じ、海外研修ディレクターとして中高大学における海外研修の企画実施サポート。 2014 年、探究学習・課題研究の成果発表の場としてシンガポールにて「中高生の課題研究発表イベント Global Link 」を創設、以後7 年間事務局長として従事。国立研究開発法人科学 技術振興機構（ JST ）“科学部活動振興プログラム”推進委員東京学芸大学 × JTB“ 学校行事効果測定システム SEAS ” 共同 研究主幹などの経験から、SSH 、 SGH 、 WWL など全国各地の中学高校の研修プログラムや課題研究のサポートを行っています。 2020 年 4 月定年 退職後も、 新しい時代の人材育成、産学官の連携による研修プログラムの企画等に取り組んでいます。
	佐藤浩人	立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 准教授	立命館アジア太平洋大学国際経営学部准教授。福島県会津若松市出身。立命館大学経営学部，大学院経営学研究科を経て現職。経営学博士。専門は会計学（管理会計論）で，会計学Ⅰ，原価会計，管理会計論の他，ビジネスデータ分析や初年次教育科目などを担当。
	犬塚千絵	在福岡米国領事館広報部　EducationUSAアドバイザー	在福岡米国領事館広報部　EducationUSAアドバイザー。福岡県生まれ。Portland State University応用言語学部卒。 帰国後は大学発ベンチャーや大学の国際センター、公益財団法事などで国際交流の支援等の業務に従事。現在はアメリカ留学や英語学習促進を担当している。

一般社団法人
Glocal Academy

分野	氏名	所属	略歴
③人文科学・教育	**隅田 学**	愛媛大学教育学部教授（学長特別補佐・附属高等学校長）	愛媛大学教育学部教授（学長特別補佐・附属高等学校長）。博士（教育学）。専門：科学才能教育学。九州大学理学部卒、広島大学大学院教育学研究科修了。ジョージア大学教育学部客員研究員、広島大学教育開発国際協力研究センター講師、宮崎大学教育文化学部講師を経て、現職。2012年ケンブリッジ大学客員研究員。PISA2015国際委員。2013年に野依科学奨励賞、2016年に日本科学教育学会国際貢献賞、2018年に日本科学教育学会学術賞を受賞。
	東 まゆみ	オックスフォード大学日本事務所代表補佐	オックスフォード大学日本事務所代表補佐。慶應義塾大学文学部を卒業後、銀行に勤務。その後マサチューセッツ大学アマースト校で美術史の修士号を取得。米国在住時は美術館ツアーや病院でのボランティアを経験。帰国後、外資系企業勤務を経て、2002年より現職。日本とオックスフォード大学とのパートナーシップ開拓、関係構築・促進に努める。
	石澤麻子	文筆家・編集・翻訳家	文筆家・編集・翻訳家。三歳の息子を育てる一児の母。千葉県生まれ。国際基督教大学（人類学専攻）卒業、オックスフォード大学大学院現代日本研究修士課程修了。著書に『教え学ぶ技術――問いをいかに編集するのか』（苅谷剛彦氏との共著）、訳書に『日本の私立大学はなぜ生き残るのか』（J. ブレーデン、R. グッドマン著）等がある。十年以上にわたり、清掃業の業界通信にエッセイを連載中。地元の私立高校の一年生を対象に、レクチャー等を通して探究学習も支援している。
④化学・物理	**上田 正人**	関西大学 化学生命工学部 教授	関西大学 化学生命工学部 教授，博士（工学）。関西大学工学部卒，大阪大学大学院博士前期・後期課程修了。学位を取得すると同時に同大学院助手に就任。関西大学に専任講師として異動し，准教授を経て教授に昇進。2010年から１年間，ケンブリッジ大学に客員研究員として在籍。専門は再生医療。最近，脊椎動物とサンゴにおける骨格形成の類似性に着目し，再生医療を利用したサンゴの高効率増殖に挑戦している。クラウドファンディングを利用し，一般の方を巻き込んだ研究の進め方を提案している。
	出原 浩史	宮崎大学工学教育研究部准教授	宮崎大学工学教育研究部准教授, 博士(理学). 1980年大阪府に生まれる. 広島大学理学部数学科卒, 同大学院理学研究科に進学ののち, 2008年に博士号を取得. その後, 明治大学, パリ南大学でポスドクとして研究に従事し, 2013年から現職. 専門は応用数学, 現象数理学. 自然や社会に現れる複雑現象を, 数理モデル, 数値シミュレーションと理論解析によって明らかにする研究を行なっている.
	今 隆助	宮崎大学工学教育研究部教授	宮崎大学工学教育研究部教授．工学基礎教育センター（数学部門）を担当．博士（理学）．福井県生れ．室蘭工業大学工学部卒，静岡大学大学院理工学研究科修了．国内外のポスドク等をへて，2012年に宮崎大学に着任．専門分野は数理生物学で，主に生物に関連する現象の数理モデル化や，微分方程式や差分方程式で記述された数理モデルの解析をおこなっている．著書は「常微分方程式とロトカ・ヴォルテラ方程式」（共立出版）．
⑤生物	**木村 健太**	広尾学園中学校・高等学校 医進・サイエンスコース統括長、同 評議員	広尾学園中学校・高等学校医進・サイエンスコース統括長、同学園評議員。広尾学園では医進・サイエンスコースを設立し、生徒の主体性を軸とした研究的な学びを推進してきた。学外では現在、情報経営イノベーション専門職大学客員教授、特定非営利活動法人遺伝カウンセリング・ジャパン理事、一般社団法人STEAM JAPAN理事、内閣府総合科学技術・イノベーション会議委員、経済産業省産業構造審議会委員、同省未来人材会議委員、同省「未来の教室」委員、科学技術振興機構ジュニアドクター育成塾推進委員、東京都東京都（科学の甲子園）TOKYOサイエンスフェア運営委員等を担い、多方面から教育改革にかかわる。
	ガリポン ジョゼフィーヌ	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科／先端生命科学研究所・特任助教、理学博士	フランスに生まれる．パリ大学（旧名：パリ第５大学）卒，同大学医学系研究科修了後，在仏日本大使館推薦国費留学生に採択．東京大学理学系研究科生物化学専攻でRNA分子生物学の研究．2013年中に東京大学，ソルボンヌ大学（旧名：パリ第６大学）の両方の博士号（ジョイント学位）取得後，東京大学で特任研究員としてバイオインフォマティクスの研究に挑戦．2014年同大学で特任助教として文系院生向け理系カリキュラム作成に取り組む．2015年～現在に至るまで慶應義塾大学先端生命科学研究所でチームリーダー．RNA・バイオミメティクス含む異分野融合的な研究を進めている．
	柳下-姜 楠	埼玉医科大学医学部（薬理学教室）講師	埼玉医科大学医学部（薬理学教室）講師。東京大学教養学部生命・認知科学科を卒業後，同大大学院医学系研究科にて，医学博士を取得。専門は，神経科学。大学入学時は国際公務員を目指していたが，ラマチャンドラン著『脳のなかの幽霊』と出会い，ヒトの脳の仕組みに関心を持つ。現在は，自閉スペクトラム症候群の発症メカニズムや，それに与える性差の影響の解明を目指している。教育面では薬理学の講義・実習を担当し，学内外での医師や看護師の育成にもあたっている。